作成日：2025 年　2 月　24 日

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

手術患者における術後疼痛、悪心・嘔吐の出現に関連する因子の解析
１．研究の対象および研究対象期間 2022 年 1 月から 2026 年 12 月に昭和大学病院に入院し、全身麻酔下で手術された患者さん
２．研究目的・方法 本研究は昭和大学病院で全身麻酔による手術を施行された患者さんにおいて、術後に発現する疼痛と悪心・嘔吐（Post-Operative Nausea and Vomiting: PONV）に関連する因子を診療録より調査し、コントロール良好な患者さんと不十分な患者さんの有する因子を比較し、その要因を解明することを目的とします。 術後疼痛と PONV の要因については複数の因子が関連していると考えられています。これらの要因を統計学的に解明し、個別の患者さんに最も適した対策をすることで、術後の早期離床、早期リハビリテーションが可能になると共に、早期退院と社会復帰に貢献できると考えられます。
３．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日までです。
４．研究に用いる試料・情報の種類 診療録より患者さんの固有のリスクとして、性別、年齢、体重、主疾患、併存疾患、既往歴、ASA-PS（American Society of Anesthesiologists physical status)、Apfel らの予測スコアを調査します。 アウトカムの評価項目である術後疼痛は NRS（Numerical Rating Scale)、使用した薬物療法、PONV は患者さんの主訴、追加薬剤投与の有無を診療録より調査します。 手術支援システムより術式、麻酔方法、麻酔時間、手術時間、術中に使用した薬剤に関連する情報を調査します。
５．外部への試料・情報の提供 該当いたしません

６．研究組織

研究責任者　　昭和大学薬学部病院薬剤学講座　　杉沢　諭

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学薬学部病院薬剤学講座　　氏名：杉沢　諭

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8　　電話番号：03-3784-8467